

第5回・第4期第5回宝塚市協働のまちづくり促進委員会

地域ごとのまちづくり計画推進部会 オンライン会議 議事録

開催日時	令和3年6月30日（水）18：30～19：40
開催場所	オンライン会議及び書面会議併用 （傍聴場所：市役所3階 3-3会議室）
次 第	1 開会 2 議事 （1）地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みについて 3 その他 4 閉会
出席委員	1 オンライン会議出席委員 久会長、足立委員、飯室委員、平原委員、加藤委員、檜垣委員、牟田委員、永崎委員 2 書面会議出席委員 松川委員、中山委員、山口委員
開催形態	公開（傍聴人1名）

1 開会

事務局から、本日の出席者は8名、書面で3名であり、宝塚市協働のまちづくり促進委員会規則第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は1名であることを報告した。

2 議事

(1) 地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みについて

事務局より、地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みについて、協働の取組推進担当次長任命及びこれまでの意見交換の内容を踏まえた修正内容等について、配布資料に基づき説明を行った。意見の内容は以下のとおり。

ア 「対話への流れ」のイメージ図について、協働の取組推進担当次長から関係課への説明の矢印が両方向となっているが、右方向（協働の取組推進担当次長から関係課への向き）の矢印だけでいいのではないかと。

イ （事務局）右方向の矢印に修正する。

ウ 仕組みについてよく作られてきたと感じている。市の方の本気度も伝わってくる。実践していく中でどのような経過を経ているかを把握し共有できれば、協働できることを提案することも可能であると思うが、対話シートについて、社

会福祉協議会や他の団体が見ることはできるか。

- エ (事務局) 対話シートは地域と市で共有するものであり、広く見ていただきたい。まち協が地域内でどのように情報を共有するのかについては一定地域にお任せしたい。福祉の取組等あれば自ずとまち協から社会福祉協議会にも情報が共有されることになると思う。まちづくり協議会代表者交流会の中で推進シートや対話シートの提出状況や内容について共有してもらいたいと考えている。代表者交流会の場に社会福祉協議会も参加してもらうことについて7月の代表者交流会で諮る予定なので、社会福祉協議会の方については代表者交流会に参加いただく中で情報を得てもらえたらと思う。
- オ (会長) 公開を前提に記載いただくよう、事前に共有しておいてもらえたらよいと思う。
- カ 対話シートは行政側が作る。第三者から情報公開請求が来たら公開することになるという理解でよいか。
- キ (事務局) 対話シートは市が作る文書になるので公文書となり、情報公開請求があれば基本的には公開することになる。また、まち協と共有するものなので、広く市民の方にも知っていただきたいと考えている。
- ク まちづくり協議会側としても公開されることを念頭に置いておく必要がある。
- ケ (会長) 今回重要なのは、協働で進められなかったという事例が出てきたときにその原因や理由について納得するような形でお互い共有できるというところがポイントだと思う。そういう意味では遠慮せずどんどんやり合っていて、最終的に落ち着くところに落ち着かせるような対話になると思っている。
- コ 対話シートの記載内容を見て、お手伝いしたいという方が現れたとき、どういう形でリターンしていったらいいのか。
- サ (事務局) 進捗確認シートをポータルサイトでも掲載することを予定している。透明性がポイントだと思っている。「この取組は手伝えるよ」ということがあれば、ポータルサイト見てご連絡いただくとか、市からまち協につないだりすることも考えている。担い手発掘のきっかけになればよいと思う。地域に広く情報共有していきたい。
- シ (会長) 民間企業の方から、「社会貢献をしたいが誰と話をしたらよいか分からない」、「地域の情報をどこでキャッチしたらよいか見えない」とよく聞く。企業もこういった地域の情報にアクセスしてもらえるように進めていただけたらと思う。
- ス 公開されることで他のまち協のことも見えるので、まち協同士の交流も深まり、よいと思う。仕組みの中に、公開されることを記載しておいた方がよいのではないか。
- セ (会長) 公開することによって良い面があることをアピールしていきながら記載してもらいたい。

- ソ この仕組みは行政と地域が対象となっているが、適宜、社会福祉協議会や企業も参加してもらうことを行政から提案してもらい、参加してもらうことになればよいと思う。そういった調整も行政にお願いしたいと考えている。
- タ (会長) 中間支援・コーディネーター的な役割を市や担当次長にお願いしたいという意見だと思う。
- チ 意見一覧に、次長の業務が増えることに対する不安に関して記載があった。そのあたりはどうか。
- ツ (事務局) 市長・副市長含む部長級以上の職員で実施した意見交換では、元々まちづくり計画の見直しの際に地域自治推進担当次長を担っていた職員から地域の現場に出ることが勉強になったという前向きな意見をいただいた。担当次長になる職員に対しては、地域の方とつながっていくことで良い面がたくさんあることを市民協働推進課からも丁寧に説明していく。負担増という面はあるが、負担が大きくなり過ぎないように勤務の振り替えの制度などを有効活用してもらい、担当次長の上司である部長級の職員に対しても配慮してもらうよう促していく。次長同士の意見交換も実施していく。負担感の軽減はこの仕組みを続けていくポイントだと考えている。
- テ (会長) 負担感だけじゃなく、本当の負担も増えない形でうまくまわしていただけたらと思う。
- ト (会長) 本日出た意見を事務局でまとめさせてもらって、仕組みをスタートさせていくということによろしいでしょうか。随時、必要があれば修正していく形で進めさせてもらえたらと思う。
- ナ (事務局) 今日いただいた意見をどう反映するかは会長一任としてよいか。(異議なし)。それでは会長一任というところで、仕組みの運用を開始していくことについて部会でご承認いただいたということで進めさせていただく。
- ニ (会長) 評価のための評価となって、評価疲れがないように進めてもらえたら。
- ヌ (事務局) 書面会議の参加者の方も3名おられ、その方々の意見についても取扱いは会長一任ということで書面会議の参加者をお願いをしている。書面会議の参加者の意見の締め切りは7月2日としているので、意見が出てきたら会長とご相談させていただく形とする。書面会議意見についても今回のオンライン会議の議事録と一緒に皆様に共有する。
- ネ 一つだけ質問がある。まちづくり協議会代表者交流会や庁内の意見交換における雰囲気や意見の内容についてざっくりと教えてほしい。
- ノ (事務局) 好意的・積極的に進めていこうと考えられているというのが第一印象である。ただ、コロナの関係でスケジュールにご不安を抱かれているまち協が多いという印象もある。この点については、スケジュールは目安なので、地域の実情に合わせて進めるということで皆さんにご理解いただいている。庁内の雰囲気や意見については、こちらも前向きにとらえているというのが第一印象

象である。地域とつながるのが職員として大事であるということが庁内の中で広まっているという印象である。負担感についてはどういう負担軽減ができるかというところが課題であること、また、予算の削減が求められている中でどうしていくのかという意見が職員との意見交換でよく聞かれる意見である。

- ハ 代表者交流会では、前回の失敗をしないためにも仕組みは必要であるということに進んでいる。早く推進シートをくださいと言っているまち協もある。問題は、交代となった部会長や自治会長に対し、見直したまちづくり計画について説明する必要があるが、それがコロナ禍であるためなかなか実施できないという点。スケジュールどおり進めることができないというところに不安感がある。ただ、計画をなんとか進めていこうという気持ちは、皆さんが強く持っている。
- ヒ (会長) 生野区の事例についてご紹介する。一般社団法人いくのもりというグループがある。このメンバーに医者があり、ワクチン接種について、この方がワクチンの打ち手になることで夕方や夜間に打てる体制を取れないかと動いてくださっている。区内の地域の拠点を接種場所として始められている。地域の活性化に向けて動いている方の中にたまたまお医者さんがいたため集団接種を実施することができたという事例である。皆さんにお伝えしたいのは、専門性の高い方が仲間にいるということの強み。おそらく宝塚においても技術を持っている方が身近にいるはず。専門性の高い方々にいかに地域に入ってもらうかが勝負だと思うので参考にさせていただけたらと思う。

3 その他 特になし

4 閉会

以 上

地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みについてのご意見一覧

No	会議	日付	該当する資料	意見の内容
1	協働のまちづくり促進委員会 地域ごとのまちづくり計画推進部会（書面）	令和3年7月2日	資料⑤「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」「進捗管理」の仕組み案等についてのご意見一覧	まちづくり協議会計画だけでは住民に活動内容、参加者呼びかけ、浸透することは難しい。協議会で行政と部会長・自治会長もっての対話が必要である。自治会長が出席していないと住民には伝わっていかない。高齢化に向けては福祉活動等声掛け安否確認など。
2	協働のまちづくり促進委員会 地域ごとのまちづくり計画推進部会（書面）	令和3年7月2日	資料①地域ごとのまちづくり計画の推進に係る室長級職員による支援体制の構築と役割	行政との対話。回数を多くして住民との顔が見えてより良いまちづくりを要望したい。